

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		乳幼児健診事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input checked="" type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健全	所属部	こども部	課長名	西本理喜子
	施策	6	健康づくりの推進	所属課	こども家庭課	担当者名	玉島茉莉奈
	業務分野	22	病気の早期発見	所属班	母子保健班	(内線)	1636
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	母子保健法
	一般	4	1	6	11828		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和40年公布された母子保健法の施行により、乳幼児の健康の保持・増進のため、乳幼児健診(4か月、7か月、1歳6か月、3歳)を実施。令和4年度から、4か月健診を医療機関委託の個別健診で実施している。対象者へは、個人通知をしている。内容は、問診・身体計測・内科健診・歯科健診・栄養相談・歯科相談・保健相談。健診後のフォロー・未受診者のフォロー等も実施。出生数は減少傾向にあるものの、転入も多く、健診1回あたりの対象者数は多いため、待ち時間が長くなっている。また専門スタッフの確保も難しくなっている。幼児の弱視等を早期発見することを目的として、家庭で行う視力検査に併せて令和5年1月から3歳児健診における視覚屈折検査を導入した。育児相談は、育児に関する不安を解消し、保護者が相談できる場として利用されている。令和6年度より、乳幼児健診・育児相談等を(10358)母子保健推進事業から(11828)乳幼児健診事業へ分割。母子保健推進員：妊婦や保護者が地域で安心して子育てができるよう、身近な話し相手となり、地域と行政のパイプ役として活動している。(合志市母子保健推進員設置規則)令和6年10月から離乳食に関する不安軽減のため、離乳食教室を実施。
【業務の流れ】	乳幼児健診・育児相談：健診スタッフ(医師・歯科医師・看護師・保健師・助産師・歯科衛生士・管理栄養士)の確保及び覚書・委託契約の締結。スタッフの年間出勤予定表を調整し作成、場所の確保を行う。健診対象者名簿を打ち出し、対象者へ通知を郵送。日程はすこやかカレンダー・広報に掲載し周知を図る。健診会場の準備。健診材料の発注及び支払い事務。健診を実施し、終了後ミーティングを行う。健診スタッフへの支払い事務。健診結果入力及び、要フォロー者・未受診者への連絡。育児相談は、毎月1回開催し、健診のフォローの場としても案内している。母子保健推進員：2年おきに委嘱状交付。4月会議開催。年度の四半期毎に活動予定表を作成。活動終了後(四半期毎に)報償費の支払い。2月活動振り返りアンケート、次年度以降調査実施。
【主な予算費目】	報酬、報償費、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品・修繕費・燃料費・印刷製本費)、役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

○乳幼児健診：4か月児健診(市内4小児科に個別健診委託)、7か月児健診・1.6か月児健診・3歳児健診(市職員、会計年度職員、委託の専門職による集団健診)を行った。【実績】4か月児健診 受診者数：555人(受診率99.1%) 7か月児健診 22回実施 受診者数：537人(受診率100%) 1歳6か月児健診 24回実施 受診者数：627人(受診率97.4%) 3歳児健診 24回実施 受診者数：716人(受診率100%)
 ○育児相談：1回/月ウィール2階和室等で実施 乳幼児の身長、体重計測、保健及び栄養指導等を行った。【実績】実施回数12回 参加者295人
 ○母子保健推進員：乳幼児健診会場にて健診対象児や、その兄弟の世話等の活動を行った。【実績】活動人員(延)175人、活動回数71回
 ○離乳食教室：4か月児の保護者に対して実施した。【実績】実施回数7回、参加組数96組

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

4か月児健診は委託医療機関にて実施。
 7か月児健診12回×2カ所
 1歳6か月児健診12回×2カ所 3歳児健診12回×2カ所
 離乳食教室(カミング教室) 12回
 育児相談 12回

③予算の主な増減の理由

嘱託医の減に伴う報酬の減

成果指標

ア 健診受診率

(単位)

データ取得方法

ア	%	受診者数/対象者数
イ		
ウ		

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	8年度 予定	9年度 見込	10年度 見込	
成果指標	ア	%			98	99.1	99	99	99	99	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							2,000	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円			21,106	20,321		21,069	21,194	21,350
(A)事業費計	千円			21,106	20,321	0	21,069	21,194	23,350		

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

台風の影響ため、時間短縮しての実施や中止をすることもあったが、安心して適正な時期に健診を実施でき、異常の早期発見・早期治療につなげることができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)